

令和7年度 小学校保育園あり方検討特別委員会 8月末時点の活動に関する中間報告書

令和7年 9 月 8 日

富士見町議会

議長 小倉 裕子 殿

小学校保育園あり方検討特別委員会

副委員長 五味 仙一

小学校保育園あり方検討特別委員会は、特別委員会発足当初における当初の計画通り勉強会、講演、視察研修を実施しましたので、ここで8月末時点の活動に関する中間報告書を下記の通り報告します。

記

1. 設置目的

教育的視点に加え、国庫補助金や地方債などの財源、新築、改築、統合の方法、他の公共施設との複合化、防災拠点としての活用等、様々な角度から調査研究をして議員全員の資質を向上する

2. 研修・視察場所 別紙のとおり

3. 期 間 令和 9 年 4 月 30 日まで(令和 7 年 8 月末までの中間報告)

4. 派遣議員 全議員(5 月 16 日から 7 月 20 日までは欠員 3 名)

5・視察報告 別紙のとおり

令和7年度 小学校保育園あり方検討特別委員会

8月末時点の活動に関する報告書

令和7年9月8日

●設置目的

教育的視点に加え、国庫補助金や地方債などの財源、新築、改築、統合の方法、他の公共施設との複合化、防災拠点としての活用等、様々な角度から調査研究をして議員全員の資質を向上する

●中間活動報告

特別委員会発足当初のアジェンダは、予定の通りに円滑に計画が遂行された。
人事の諸事情により新しく委員長が決定した令和7年8月末現在、本年度実施された勉強会、講演、視察研修の実績を、確認の意味で報告する。

■5月20日(火) 午後2時～ 全協室

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」

文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課 課長補佐 扇谷圭一 様

[主たる内容]

「未来思考」をもった上で「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて、これからの新しい時代の学び舎として目指していく姿を示し、その学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮するものとして、その中心となる「幹」に「学び」を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として「生活」「共創」の空間を実現し、新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進していく「根」として「安全」「環境」の確保を行う

■6月13日(金) 午後1時30分～ 全協室

「小中学校の学校改革の推進について」

長野県教育委員会事務局 学びの改革支援課 学校改革支援センター

参事・センター長 小池 徳男 様

事務局 藤井 篤徳 様

[主たる内容]

・いま、なぜ、「学校改革」なのか

・ウェルビーイング実践校 TOCO-TON

「すべての子どもが、「好き」や「楽しい」「なぜ」とことん追求するための一人ひとりに合った学びを自ら選択できる状態」を目指す姿として掲げる

Action1:公立における「一人ひとりに合った学び実践校」を長野県から

・学校改革支援センターの支援

子どもたち一人ひとりが自分らしく学ぶことのできる学校、先生方がやりがいを感じな

から働くことのできる学校を創るために、これまでの常識にとらわれず、学校づくりを突き詰めていくことを支援する。

■6月30日(月) 10時00分～ 伊那西小学校(視察研修)

「伊那西小学校の小規模特認校制度」

伊那西小学校 校長先生 有賀 大(あるが ひろし)様

[主たる内容]

2018年から「小規模特認校」として、学区外からも通学可能となり、各学年15人までの定員で、特色ある教育環境を生かした少人数教育を実施。

校舎のすぐそばに広大な森(学校林)を持ち、自然の中での体験学習や教科学習を日常的に行い、森での観察や実験、モノづくり、イベントなど多彩な活動を展開、ICT教育にも力を入れており、森の中でもWi-Fi環境が整っており、少人数制で一人ひとりに目が届き、個性を伸ばす教育が実施されている。

■6月30日(月) 13時40分～ 伊那西地区公民館(視察研修)

「伊那西地区を考える会の住民の皆さんとの意見交換会」

伊那西地区を考える会 事務局長 唐木 賢治 様

事務局会計 中村 博 様

伊那市地域おこし協力隊 石田 健祐 様

[主たる内容]

伊那西地区の未来を考え地域の交流促進や活性化に寄与することを目的とした地域団体。伝統・文化・景観・幸せな生活を次世代に継承し、誰もが安心して暮らせる環境づくりやUターン・Iターンしやすい地域づくりを目指し、保育園、小学校の存続問題がきっかけで令和2年3月に正式に発足した。移住者支援のサポーターや地域おこし協力隊を配置し、SNSでも情報発信を行い、地域の魅力や活動の様子を紹介し、象徴となるロゴを制作し地域の一体感を高めている。

■7月17日(木) 午後2時～ 全協室+オンライン講演

「公立学校施設整備費補助について」

文部科学省 文教施設企画・防災部 施設助成課 整備計画係長 平根 真一 様

[主たる内容]

・公立学校施設整備における予算

令和6年度当初予算683億円、補正予算総額2076億円 令和7年度当初予算691億円、この予算には、老朽化対策、長寿命化、バリアフリー化、防災機能強化、ICTネットワーク環境整備、ZEB化(高断熱・LED照明・太陽光発電等)、木材利用の促進など多岐にわたる分野が含まれている

・長寿命化改修について

財政状況が厳しい中で老朽化への対応を図るため、整備手法の工夫により費用を削減しつつ各年度の負担の平準化を行うことで、着実に老朽化対策を実施し、安全・安心で機能的な学校の実現を目指す。

長寿命化改修とは、学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるための改修方法、従来のように建築後 45 年程度で建替えるのではなく、適切なタイミングで長寿命化改修を実施し、トータルコストの縮減や整備量の平準化を図る。また、コストを抑えながら建替え同等の教育環境の確保が可能となる。

・学校統合、公共施設との複合化・集約化について

公共施設の中で最も保有面積の割合が高い学校施設は、その整備方針が公共施設全体の整備計画に大きな影響を与えるが、一方で他の公共施設(社会教育施設、子育て支援施設など)と機能面等で多くの共通点もある。そのため、学校施設を中心に公共施設の複合化・集約化に取り組むことで、公共施設の総面積の削減と施設整備費等のコスト縮減が図られることから、当該事業に対して補助率の引上げを行う。

・避難所になる体育館の空調設備整備

[現状・課題]

子供たちの学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所として活用される学校体育館等について、避難所機能を強化し耐災害性の向上を図る必要がある、しかし、学校体育館等における空調設置率は約2割にとどまっており、更なる設置促進が必要な状況である。

[事業内容]

学校施設の避難所機能を強化し、耐災害性の向上を図る観点から、交付金を新設し、避難所となる全国の学校体育館等への空調整備を加速する。

[空調設備整備臨時特例交付金]

〈対象学校種〉

公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程)、特別支援学校

〈対象施設〉

屋内運動場(学校体育館、武道場)

〈算定割合〉

1/2

〈算定対象の範囲〉

下限額 400 万円、上限額 7,000 万円

〈対象期間〉

令和 6 年度～令和 15 年度

〈主な工事内容〉

屋内運動場における空調設備の新設及びその関連工事

〈補助要件〉

避難所に指定されている学校であること

断熱性が確保されること

〈地方財政措置〉

起債充当率:100%、元利償還金への交付税措置率:50%

以上

5月20日(火)「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」
文部科学省 大臣官房文教施設企画・防災部施設企画課 課長補佐 扇谷圭一 様



6月30日(月)「伊那西小学校の小規模特認校制度」
「伊那西地区を考える会の住民の皆さんとの意見交換会」



7月17日(木)オンライン講演
「公立学校施設整備費補助について」

